

2023 年度アジア大気汚染研究センター（ACAP） 一般公開開催報告

2023 年 8 月 4 日（金）に、4 年ぶりの一般公開を開催しました。

小学校 4 年生以上の児童 40 名にご来場いただきました。

参加者は、最初に座学として、ACAP の活動や PM2.5 などの大気汚染について学習いただきました。

座学後は、施設内や実験室を廻り、クイズラリーをしながら、酸性雨や PM2.5 について、土壌微生物の働き、大気汚染物質の排出状況や予測を行うシミュレーションモデル、ACAP が取り組む国際協力について学習いただきました。後半の実験体験では、土や模擬的な雨水を使い、pH 試験紙を用いた実験を通し、酸性雨が緩衝や風化を経て中和される地球の力を実感いただきました。

その他、今年度も、新潟県環境保全事業団の呼びかけにより、「COOL CHOICE」*1 のアンケートにご協力いただき、地球温暖化防止やリサイクルの重要性について理解を深めていただきました。

*1: 環境大臣を長とする『クール・チョイス推進チーム』を軸に実施されている国民運動。2030 年度に温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組。



ACAP の活動を紹介



大気汚染の説明



記念写真



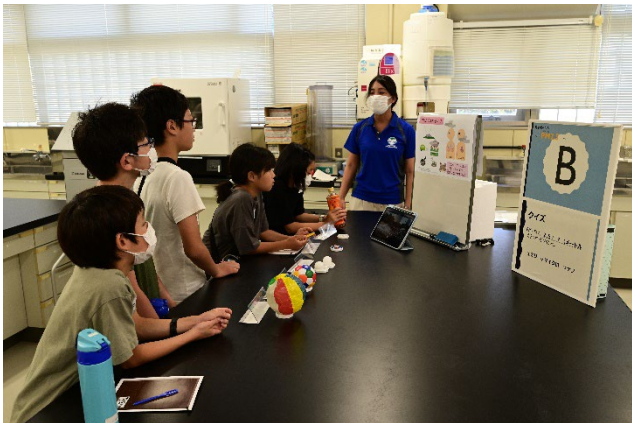
クイズラリーをしながら施設見学



花火の煙をPM2.5に見立てて水(雨)と混ぜて、
みんなで実験用サンプル作り



雨を集める機械の説明



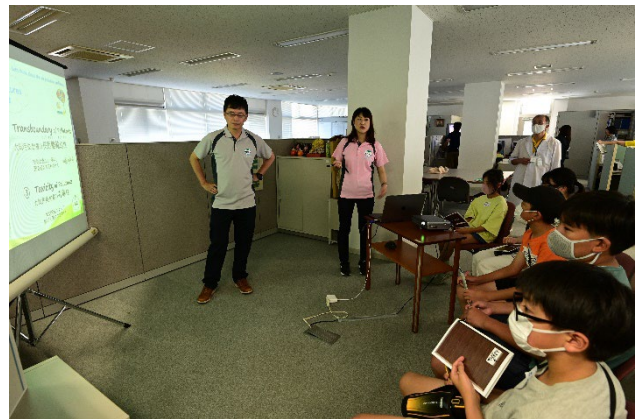
模型を使ってPM2.5の大きさを説明



土壌微生物の働きにより二酸化炭素が発生することを説明



大気汚染の計算(シミュレーション)を説明



ACAP が取り組んでいる国際協力の説明





弱酸性の水に土や炭酸カルシウムを混ぜた後、ろ過して、pHを測ると、中和されたことを確認



最後に参加証を授与



ご参加いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。私たちの一般公開が環境問題を考える良いきっかけとなれば幸いです。

来年も夏休みの同時期に開催を予定しておりますので、次回またお会いできますことを、ACAP スタッフ一同心よりお待ちしております。